

〈翻訳〉

2020年4月16日

宛先：中央幹部，中央役員，地域七十人，ステーク会長，伝道部会長，地方部会長，神殿会長，ビショップならびに支部会長

件名：困難な時期における運営に関する原則

拝啓

新型コロナウイルス（COVID-19）の感染拡大に対応して、多くの国々において、国家、州、および地方の指導者の指示に注意深く従おうとくださっている多くの皆さんに感謝しています。末日聖徒イエス・キリスト教会も適切な予防策を講じており、助けを必要としている人々への支援を行っています。

現状と将来に起こり得る状況において、教会とその会員は、善良な市民、また善良な隣人であることへの決意を誠実に示し続けます。

この手紙に同封されている文書には、困難な時期における教会の運営の原則が説明されています。そこには、必要不可欠とされる儀式や祝福、およびそのほかの教会の機能について、現在の危機的状況、および将来の困難な時期に指導者への指針となる指示が含まれています。

これらの文書は、新型コロナウイルスの世界的感染拡大の影響により教会手続きや会員活動が通常通りできないことに対応して発行されています。特定の国や地域で感染の拡大が続く限り、これらを指針とするべきです。ほかの指示が後に発表される可能性もあります。

敬具

大管長会

# 困難な時期における

## 運営に関する原則

2020年4月16日

末日聖徒イエス・キリスト教会は、会員が永遠の命へ続く聖約の道を進むのを助けるうえで神が定められた責任に焦点を当てています。教会とその指導者たちは、人々が神権の権能と鍵、聖約と儀式、そして預言者の勧告を受けられるようにすることで、この神聖な目的が達成されるよう助けます。教会はすべての人々にイエス・キリストのもとに来て、主の戒めを忠実に守るように勧めています。

### 困難な時期

聖典には、この神権時代が困難の尽きないものになることが明確に記されています。困難な状況の中で、教会は基本的な原則を宣言し、天父の子供たちを祝福するために必要な儀式を執行します。

時や状況にかかわらず、主の教会に欠かせない事柄があります。

それには神聖な教義と儀式が含まれます。

## グローバル市民としての責任

教会の会員は、宗教の自由を守り、神聖な良心の自由を尊重する

世界中の多くの国々の法律に感謝の念を抱いています。

教会は、教会員が居住する地域の法律を遵守し、支持すべきであ

ると教えています。政府は独自の判断により、公共の利益を確保

するために割り出された最も適切な法律を制定しています。例外

的な状況において、一般市民の安全を擁護するため、当面の間、

全ての個人の権利が合理的に制限される場合があることをわたした

ちは理解しています。

パンデミックまたは自然災害が発生した場合、教会は公的な指示

に応じ、集会やその他の集まりを中止または延期するなど、必要

な措置を講じます。教会とその会員は、善良な市民、また善良な

隣人であろうとする決意の下、助けを必要とする人々に手を差し伸べ、支援を提供してきた長い歴史を持っています。

善良なグローバル市民であるよう努めるとともに、わたしたちは、信仰の基礎となる儀式に参加を望むあらゆる信仰を持つ人々に対し合理的な配慮がなされるよう、謹んで求めます。

### 主は御自分の教会を備えられました

長年にわたる、靈感に基づく指示を通して、主の教会とその会員たちは、物質的にも霊的にも、変化と困難な時期に備えられて来ました。

教会員は、家庭で食糧貯蔵を行うという長年の勧告に加え、安息日を守り、ミニスタリングをし、メルキゼデク神権定員会と扶助協会を強化するよう努力してきました。家庭が中心となり教会がサポートする形で福音を学習し、福音に従って生きることに、主は預言者を通してますます焦点を当てられています。会員は、自

分の家庭を真に信仰の聖所とし、子供や青少年が福音を学べる場とするよう勧められて来ました。「わたしに従って来なさい」の教科課程により、会員がどこにいても自宅や教会で福音を学べるようにする規範が提供されています。子供と青少年のプログラムもまた、親が子供たちに霊的、知的、身体的、社会的な養いを与えられるよう、家庭を中心としたものとなっています。

会員は、テクノロジーを活用して福音のメッセージを普通で自然な方法で分かち合うよう勧められています。宣教師には、直接会うことができない場合でも、教える人々を見つけることができるようデバイスが提供されています。会員は自宅から家族歴史の業に携わることができます。

上記をはじめ多くの取り組みが連動しているパターンに目を向けると、主が慎重かつ巧みに調整し、順序付けながら、わたしたちを困難な時期に備えて来られたことが分かります。

## 基礎となる原則と儀式

末日聖徒イエス・キリスト教会は秩序ある教会です。儀式と祝福は神聖であり，神権の権能によって提供されます。一部の手順は状況に応じて変更される場合がありますが，基本的な教義，原則，および儀式は維持される必要があります。

確認，聖任，祝福，任命，神権の鍵の授与など多くの儀式では，頭に手を置く必要があります。そのような儀式では，儀式を行う神権者が，儀式を受ける人と同じ場所にいる必要があります。神権の儀式はテクノロジーを用いて遠隔で行うことはできません。状況に応じて，管理役員の許可がある場合に，テクノロジーを用いてほかの人が遠隔で儀式に立ち会うことはできます。

この困難な時期にあって，管理役員は知恵を用いて，どの儀式が一時的に延期されるべきかを判断しなければなりません。感染症が懸念される場合，儀式を執行する人は，自分自身とほかの人々を守るために必要な予防策を講じるべきです。

ここには、必要不可欠とされる儀式や祝福、およびそのほかの教会の機能に関する指示を添付しました。

これらの文書は、新型コロナウイルスの世界的感染拡大の影響により教会手続きや会員活動が通常通りできないことに対応して発行されています。特定の国や国の一部の地域で感染の拡大が続き、それに伴って教会の集会と公での活動に正式な制限が設けられている限り、これらを指針として利用してください。ほかの指示が後に発行される可能性もあります。

## まとめ

預言者ニーファイが言ったように、「主が命じられることには、それを成し遂げられるように主によって道が備えられて〔います。〕」（1 ニーファイ 3：7）。主が私たちを助けてくださいます。神権の力と会員の義が助けとなり、今後わたしたちは前進できるでしょう。

# 必要不可欠な儀式，祝福その他教会の働き に関する指示

2020年4月16日

例外的な状況において，儀式は通常，必要な予防措置を講じたうえで行うことができます。例えば，感染症の伝染が懸念される場合には，儀式を施す人は徹底的な手洗いをするべきですし，手袋やマスクを使用することができます。

## バプテスマと確認

バプテスマと確認は，適切な鍵を持つ神権者の承認がなければなりません。必要に応じて，バプテスマは，バプテスマを受ける人，バプテスマを施す祭司またはメルキゼデク神権者，二人の証人を含み，最低4人がいれば行うことができます。バプテスマは，必要な神権の鍵を持つビショップまたは伝道部会長の承認の下で行います。ビショップまたは伝道部会長，またはそのどちらかが委任した人（証人の一人でもよい）は，そのバプテスマまたは確認



に出席して、記録を取らなければなりません。必要であれば、儀式を承認した人はテクノロジーを用いて遠隔地からその儀式に出席し、記録を取ることもできます。指導者および家族、友人も、テクノロジーを用いて遠隔地から出席することができます。聖餐会が一時的に差し止められている場合、改宗者はバプテスマの直後に確認の儀式を受けることができます。

### 神権への聖任と任命

神権の聖任および任命を行うには、適切な神権の鍵を持つ人による事前の承認がなければなりません。また、権能を持つ神権者による按手という身体的な接触が必要になります。この儀式は、神権の鍵を持つ人、またはその人から委任された人が出席して記録を取らなければなりません。必要であれば、この記録者は、テクノロジーを用いて遠隔地から出席することができます。指導者や家族、友人は、テクノロジーを用いて遠隔地から出席することができます。

聖任および召し、任命は、適切な神権の鍵を持つ人から事前に承認を受けていれば、ワードまたはステークで支持を取ることなく行うことができます。こうすることにより、主の業を進めることができるようになります。このようにして行った措置は、後に集會が再び開かれるようになってから追認します。

## 病人の癒し

神権の祝福には、按手という身体的な接触が必要になります。通常、二人以上のメルキゼデク神権者が行いますが、一人で行うこともできます。必要なあらゆる予防措置を講じたうえでも病人の頭に手を置くことが状況を見て適切でない場合は、テクノロジーを用いた祈りも含む、祈りをささげることができます。これは、信仰の祈りであって、神権の祝福ではありません。だれでも、どんなときでも祈り、断食することができますし、そのほかの方法で人にミニスタリングを行うことができます。

## 聖餐の執行

会員は、聖餐会に出席する機会を活用して、可能な場合は毎週聖餐を取るべきです。例外的な状況にあつて長期間ワードで聖餐会が開かれない場合、ビショップは、ワードのふさわしい神権者に、彼らの自宅、またはふさわしい祭司もしくはメルキゼデク神権者が家庭にいないワード会員の家で、聖餐を準備・執行する許可を与えることができます（『総合手引き』18.1.9 参照）。必要に応じて、聖餐は一人の祭司またはメルキゼデク神権者が行うことができます。

会員はパンと水を自分で用意して提供することができますが、聖餐の準備は、権能のある神権者が行わなければなりません。聖餐を執行する神権者は、パンを裂き、聖餐の象徴（としてのパンと水）を配り、祈りの言葉を言う間、聖餐を受ける人と同じ場所にいなければなりません。聖餐が受けられない例外的な状況では、会員は聖餐の祈りを研究し、それまでに交わした聖約を守る決意を新たにし、正式に神権者によって執行される聖餐を受けられる

日が来るよう祈ることによって、心の安らぎを得ることができます。

個人と家族は、実際に集まって、または集まることなくテクノロジーを用いて個人的に、家庭中心の安息日の礼拝を行うことで祝福を受けます。そのような礼拝には、祈りや賛美歌、福音の研究が含まれます。権能を持つふさわしい神権者がいる場合には、聖餐を祝福してパスすることができます。

### その他の教会の働き

**集会。** 極めて困難な状況下では、指導者は一時的に集会や活動を差し止めることができます。状況によっては、ビショップリックの集会や面接、ワード評議会集会を、電話やテレビ電話などのテクノロジーを用いて、一堂に会することなく行うことができます。ビショップおよびワードの指導者は、テクノロジーを活用してメッセージを伝え、会員の行う家庭中心の礼拝を補うことができます。

ミニスタリング。ミニスタリングブラザーとミニスタリングシスターは、担当する個人や家族に必要なサポートを与える方法はたくさんあることが分かるようになるでしょう。ミニスタリングを直接相手に会って行うか、それとも、会うことなくテクノロジーを用いて行うかは、地元の状況と、本人の要望や希望、健康状態によって判断します。ミニスタリング面接は、必要に応じて、相手に会うことなくテクノロジーを用いて行うことができます。極めて困難な状況においての直接会って行うミニスタリングは、深刻で緊急を要する身体的、精神的、情緒的必要への対処にのみ限定される場合があります。ミニスタリングブラザーとミニスタリングシスターは、適切な方法で愛を示してサポートを与えるようにしてください。